

菊地東陽 きくちとうやう 實業家。明治十六年二月四日山形縣生れ、昭和十四年四月五日没（二八三一九元）。本名肇治。寫眞技術修業後、明治二十七年アメリカに渡り、大正七年感光性乳劑を發明。翌年歸國しオリエントナル寫眞工業を設け、十年人像用印畫紙の製造に成功。

文献『菊地東陽傳』（昭和十六年八月）二十日菊地東陽傳誌編纂會（等）。